

道具で
変わる!
効率アップ
清掃術

雑草の対処は 早期のうちに

共用部清掃でよくご相談いただくことのひとつに、雑草の問題があります。真夏の炎天下での除草作業はできるだけ短時間で終わらせたいものですが、そのために一役買ってくれるのが除草剤です。

除草剤には、顆粒(粉末)の粒剤と液体の液剤があります。使いやすさとコストパフォーマンスの点から、巡回清掃では液剤を主に使用しています。

粒剤は土に対して薬剤をまきますが、液剤は草そのものに薬剤をかけます。草が枯れるまで通常2〜3週間を要しますが、ポイントでは、雑草が小さいうちに枯らせてしまうこと。小さいうちであれば、枯れてしまえば目立たなくなり、いずれ跡形なく自然にかえりま

す。【写真①】のように大きくなってしまった草を枯らせると、そのまま

第5回 夏の犬敵、雑草。装備を整え、除草剤とねじり鎌で対処する

この連載では、アパートやマンションの清掃をもっと楽に、きれいにする方法を、使用する道具とその使い方を交えながら伝授します。

第五回は『雑草の除草』です。炎天下の雑草取りはできるだけ手早く終わらせたいもの。薬剤を上手に使って効率をアップしましょう。

では見栄えがしませんから、1に抑えることができます。結局は立ち枯れした草を手で抜き取っていか

原液から無農薬まで

目的別に選べる

液剤ですが、これまでは【写真②】のようなシヤワータイプのものが主流でしたが、今ではス

希釈した除草剤をジョウロで散布すると便利

草を取るときは 根からしっかり抜く

植栽や植木の周囲にある雑草に除草剤を使用すると花や木を枯れさせてしまう危険性があります。それゆえ、そのような場所は、手作業での除草となります。

草を取る際は、手間はかかりますが、できれば根からしっかり抜くよう

にします。引きちぎるよう

清掃の極意三カ条

- 【壹】草が小さいうちに手を打つべし
- 【貳】ねじり鎌を使い根から除草すべし
- 【参】装備を整えしっかり身を守るべし

④ 草刈りにおすすめの「ねじり鎌」



⑤ 虫よけ対策などは万全に



す。根が強い草については、もう一方の手で草を引き上げながらねじり鎌で根を掘りおこすようにします。

広いスペースの草取りをする場合はそれなりに装備も必要です。麦わら帽などをかぶり日差しから頭部を守るのももちろんとして、蚊の襲撃に備えて【写真⑤】のようにネット付きの日よけ帽をかぶるのもひとつです。

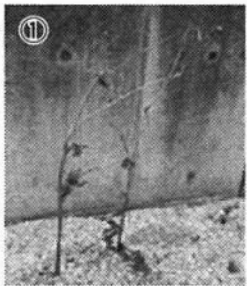
草の種類によつては肌に触れることで皮膚がかぶれてしまうことがありますの

出版社・編集プロダクションの編集を経て、2003年金子商事・ダスキン中目黒店に入社。ハウスクリーニングやアパート・マンションなどの清掃現場を担当。2010年、中小規模のアパート・マンション・オフィスに特化した巡回清掃を行う「たてものサービス」設立。「人も建物も爽やかに」をモットーに、月間約500物件の「巡回点検清爽」を行っている。



たてものサービス
代表取締役
鈴木範之

① 大きく育ってしまった雑草。小さいうちの処理を心がける



② 従来の主流だったシヤワータイプ



③ スプレータイプは吸引しないよう注意を

